

伊達市観光物産館の視察研修

平成30年6月25日

納内地域集落対策協議会では、伊達市の観光物産館を視察研修し、伊達観光物産公社の鎌田専務取締役から説明を受けました。伊達は野菜の産地ですが地元の野菜は地方に行ってしまうので、地元ではなかなか購入が出来ないこと。小規模農家は小さいロットの野菜ではJAなどが受入してくれないこと。この2つの悩みを解消するために平成24年に観光物産館を設立。入館者数は年間140万人で、平日は2千人、土日は5千人の来客があり売り場と駐車場を増設。平成29年度の売上は751万円で、その半分は野菜で現在82件の農家さんが出荷しています。商品管理も徹底されて販売状況がメールで分かるシステムに驚きました。店内の各農家の野菜や工夫されたディスプレイに、参加者一同は、大いに感心させられて大変有意義な研修となりました。

